

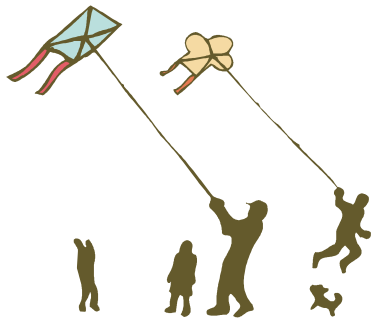
回想ガイド・1月

平成25年 1月4日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

あけましておめでとうございます

いい年にしたいものです

クリスマスの華やかなイルミネーション、暮の雑踏がうそのように、除夜の鐘がゴ〜ンとなる大晦日の深夜から早朝の朝にかけて、新年は静かに幕を明けてゆきます。時間の流れは魔法がかかった様に。しかし、「日めくりをめくるがごとく年が明け」本当に、年を重ねるごとに、一年があつという間に走り去り、あつという間に新年がやってくるようです。皆さまには、巳年の幕開けはどんな



夢を描いたのでしょ
うか。

日本海側は大雪の
お正月になりました
が、三が日に降る雨
や雪は「御降」と、め
でたい正月のあいにく

の空模様を、天からの授かりものと私たちのご先祖様は呼んできました。

なつかしい文字が飛び交い、喜怒哀楽が交差する年賀状に心もぼかぼか。家族がそろい、お雑煮をほう張り、初詣、何でもいい、年の初めの幸せを気分新たに歩みだしたいです。いい年になるように願いをこめて。

親から子、子から孫へ

子どものころ、障子の張替えは子どもの仕事でした。庭先で、中学生の兄と一緒に手を真っ赤にしながら障子を水洗い、障子を乾かしているあいだに、うどん粉を水で溶いて煮詰めてのりを作り障子の張替えの準備をしました。準備ができたなら、障子のさんにうどん粉のりを刷毛でつけながら障子紙を張ってゆきます。

子どものころの頃、おばあちゃんや、母は、手ぬぐいを頭にかぶり、たすきがけをしたり、割烹着を着たりして、年末の大掃除は家族全員でしていました。

障子の張替えも、小さい頃から、おばあちゃんや両親がするのを見たり、手伝ったりしながら覚えたもので、教えられたわけでもなく、見よう見真似で覚えたものでした。体が覚えていることは、いくつになっても、忘れることなく覚えているのですね。不思議なことに。子どもたちも、私のすることを見よう見真似でできるようになりました。

今でも、母の部屋の障子を張り替えますが、障子を洗っていると、子どものころの年末の情景がなつかしく脳裏をかすめてゆきます。いつの世も、いつもの流れに身をゆだね、年が暮、年が明けてゆくのですね

1月の予定

回想ガイド活動は、18日(金)

昔の遊び体験教室は、26日(土)、

開催場所は、歴史民俗資料館開催時間は、13時30分～15時30分です

